


会社概要

ECOMはコーヒー、カカオ、綿花を専門とし、砂糖と油糧種子を付随事業にもつ、農産物取引・加工の世界的な企業です。世界中の主な生産国、消費国で事業を展開しており、その数は30カ国以上に上ります。ECOMは世界3大コーヒー商社の1社で、カカオと綿花でも世界トップ5に入ります。AMSAはECOMがメキシコで運営する会社です。

BOP層へのインパクト

30カ国以上、25万人の小規模農家から直接コーヒー豆とカカオを調達

課題

- ・ コーヒー豆とカカオの安定かつ安全な供給元を確保する必要性
- ・ 適切な農業生産規範への理解を欠くことが多い小規模農家
- ・ 不十分で行き届かない農業生産に必要な投入物と資金調達方法
- ・ 認証商品および商品のトレーサビリティに対して増す最終消費者の要望

戦略

- ・ SMS(持続可能な農事サービス)と名付けた農業普及指導サービスを農家に提供し、農産物の品質と生産性を向上
- ・ 農家が認証基準を満たすことで収入を増やし、消費者の要望に応えられるようトレーニングを提供
- ・ 小規模農家のための農業投入物と融資へのアクセスを増やし、実現可能な地域では提携して農業保険を導入(例:AMSAの保険基金は国営保険機構Agroasemexと共同積み立てで補償範囲もあつらえ)
- ・ 地域のNGOや利害関係者と提携し、トレーニングやその他のサポートを提供(例:AMSAはメキシコ環境保護機関、先進技術専門学校のリサーチセンターと共に認証作業に取り組む)

成果

- ・ 2013年時点で20%以上のECOMのコーヒー豆は同社の認証を受けて販売されており、2008年以降毎年15~20%の割合で増加。認証付き商品の販売量は世界のコーヒー市場の推定15%に及ぶ
- ・ ECOMのSMSは25万人以上の農家に直接サービスを提供しており、AMSAのサプライチェーン内では3万人の農家がサービス享受
- ・ 適切な農業生産規範や農業投入物、融資へのアクセス増加によって、いくつかのプログラムでは40%以上の生産高向上を示す
- ・ 高品質・認証付き商品の生産量増加および販売価格の向上によって農家の所得が30~300%の増加を示す

IFCの役割

- ・ 世界的な事業展開を行うECOMに対して1億5,400万ドルの融資を提供し、準株式による資本参加を行う
- ・ 2,500万ドルの初期投資と中米におけるアドバイザリー・サービス提供に引き続き、IFCはECOMのアジア(インドネシア、ベトナム、パプアニューギニア)やアフリカ(ケニア、タンザニア、ウガンダ)を含む世界的な事業展開と持続可能性にかかる戦略をサポートするため、さらなる投融資とアドバイザリー・サービスの提供を行う


ECOMのインクルーシブ・ビジネスモデル

コーヒー豆は世界中で主に経済ピラミッドの下層部に属する小規模農家によって栽培されています。ECOMはこうしたコーヒー農家と共に生産性の向上と認証取得に取り組んでいます。同社は農家が生産高と品質を向上させ、ECOMが採用するさまざまな認証基準(レインフォレスト・アライアンス、スターバックス、4C、Utz、ネスプレッソAAAなど)を満たせるよう、技術援助を提供します。さらには、季節によって農業投入物および設備投資を目的とした選択的な中期融資を農家に提供することもあります。

技術支援の面では、ECOMはローカルおよび国際的なパートナーから適格な農学者を採用し、同社SMSを通じて農家に持続可能性や生産性に関するトレーニングを提供しています。数あるSMSのトレーニングの中には、保水性を高めるための土壌保全や異種交配の接木を用いて耐性の高い畑をつくるといったものがあります。こうしたサービスは世界3大陸、20カ国以上の国でコーヒー農家とカカオ農家を中心に提供されており、最近では小規模農家の畑全体に農学の知識を取り入れています。

資金調達面では、ECOMは数多くの国々で季節によった融資を小規模農家に対して提供しており、その中にはメキシコ、グアテマラ、ニカラグア、ホンジュラス、コスタリカなどが含まれます。コーヒー豆の納入に先んじて支払われるこうした融資は、農家が生産サイクルを通じて、肥料などの農業投入物を購入し、コーヒーの木を管理できるよう資金繰りを円滑にし、収穫に至れるようになります。詳しくはwww.ecomtrading.comをご参照ください。